

●2023 年の里山の会の十大ニュースの第 1 位に同志社大学サッカー部 3 回目ボランティア活動 43 人木津川除草作業が年内に完了したことが 18 人の投票結果となりました。

先の 1012 号でも紹介しましたが、最初、学生さんたちは年末に向けて様々な予定を立てておられますが、その計画の都合をつけて延べ 43 人もの皆さんが集まっていただきました。当初 3 回の計画でしたが 4 日ともご参加いただいた方 3 日間参加してくれた仲間等沢山の力を集中させて頂きました。それぞれ練習時間が 3 つに分かれていて顔を合わせるのが難しい中で参加協力を呼びかけ集約していくことが非常に困難な中、追加支援日に 15 人もの仲間を集約するための取組みは本当にご苦勞であったと思います。そして現場が離れていての運搬も当日の変更などが発生するなどの苦勞が大変だったと思います。はじめての収集作業で足元に傾斜があつての作業だったので力の入れ方が平地とは違っていてご苦勞であったと思います。それでも力一杯時間いっぱい頑張ってください 4 日間で 15 カ所の刈草を延べ 84 袋に全部詰め込み上げていただきました。冬のこの季節は雨天続きだったので刈草が雨を含み、大変重く集草は大苦勞でした。それを袋に詰め込むのですから大仕事の連続となりました。言葉で言い表せない大仕事の作業となりました。それをやり遂げていただいたのですから感謝!! 感謝です!!

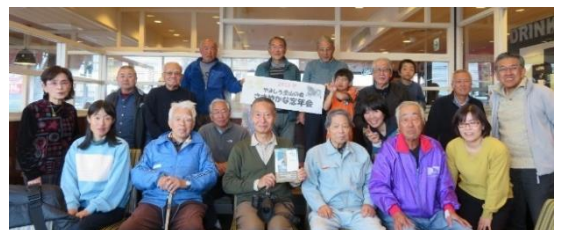
作業を進めていただいた全箇所は、里山の会が 24 km の範囲を 3 年がかりで生育している植物調査で木津川には 917 種の植物の生育を確認してきました。それらの植物はすべて証拠標本にして管理しています。そして木津川の花の冊子に公表し標本も写真化しています。これらの資料や成果物は大学の図書館や国会図書館に贈呈してきました。この資料は次代の研究者の参考資料として役立つときが来ると思います。そのうち 8 種が京都府植物学者たちによって絶滅寸前種に指定されているので、管理する国交省近畿地方整備局淀川河川事務所に調査の結果に基づいて保存維持の必要性を提言し、調査管理維持の必要性を認めてもらっています。この作業を行っていただいた場所は手を入れないと数年で絶滅を免れないといった大変貴重な植物が生育している場所なのです。今回の刈草の除去作業は春になって新芽が成長しやすくするための絶滅危惧種や絶滅寸前種を守るとても大切な作業を行っていただいたのです。心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ややもすると貴重種に目線が行きますが、すべての植物が互いに支え合って地球の環境を維持してきていることも忘れず注意してゆきたいものです。

●2023 度里山の会十大ニュースが決定

出席者は 18 人で確認 10 項目を選び得票の多い順番に順位を付けました。

- | | | |
|-----|---|-------|
| 1 位 | 同志社大学サッカー部 3 回目ボランティア活動 43 人木津川除草集草作業完了 | 12 点 |
| 2 位 | 朝日新聞 週間ニュース 1000 号紹介 | 11 点 |
| 2 位 | 里山の会軽トラ玉突き事故発生 3 台 1 人負傷 | 11 点 |
| 3 位 | 京大ラボラトリーで中聖牛組み立てる | 10 点 |
| 3 位 | 外来魚駆除の第 1 回魚釣り大会 95 人の参加で大成功 | 10 点 |
| 4 位 | 講演会オオサンショウウオの展示などで 165 人参加 | 9 点 |
| 4 位 | 木津川希少種生育調査管理業務・除草作業年内に完了 | 35 ヶ所 |
| 5 位 | ヤマトサンショウウオの水路に土嚢袋が置かれ池が干しあがる | 6 点 |
| 5 位 | ササユリ開花 6 月 4 日 5 輪開花 | 6 点 |
| 5 位 | ホテルの集い 50 人参加 キジムーバンド演奏 | 6 点 |
| 5 位 | 第 1 回京都府生きものフェスタ開かれ 竹蛇籠製作で大活躍 | 6 点 |



楽しいひと時を過ごせました

竹門先生からシラス釜揚げ 500g2 包みと、世界のコーヒー豆 5 袋を提供いただき、あみだくじで大変楽しく盛り上がりしました。

●2023 年の最終のイベントしめ縄づくりが里山農園で行われました。12 月 24 日（日）

この取組みは一般新聞での開催案内は行いませんでしたが、京田辺市以外の宇治市・奈良市・精華町から 20 名の方々の参加がありました。そして里山の会のみんなから手ほどきを教わって一生懸命に作りました。材料の茎の長いもち米の藁で製作します。近頃農家の方々は収穫の時脱穀が面倒なのでもち米の生産農家が少なくなって藁の調達に苦労しています。また裏白も成長がよくなってきているらしく、適当な大きさのものは採取が難しくなって来ているなど材料の準備に時間がかかります。出来上がったものを見ると簡単に作れるように思いますが、縄はよりをかけるのがコツなのです。この技を身に着けられれば簡単な作業になります。みなさんはこのところで苦労をされていました。

それでもなんとか成功されて写真のようにできあがりました。この日は真冬並みの冷たい一日でしたが、風がほとんどなく太陽が顔を出してくれましたので良かったです。



●新年初顔を合わせは 6 日の七草摘みと七草かゆから 参加申し込みは里山の会メールで 50 人を受け付けます

里山の会が結成された時（1996 年）から毎年欠かさず開催してきたのが七草摘みです。以前は京田辺市の近鉄鉄橋付近は多くの耕作放棄地で地主さんの了解を得て七草を摘みました。そして田辺グランドの空き地や高水敷で七草かゆを楽しみました。高校での舞台発表が終わったので衣装を使って下さいとの申し出をうけて古代衣装に作り替えて現在も使用して摘み取りや七草刻みに面白く使わせて頂いています。グランド付近では七草が見つからなくなって、開催会場を里山農園に移しました。それまでは雨天対策として 10m 四方のビニールシートを 5m の長さの竹を四隅と真ん中に立てて会場を作っていました。里山農園に教育棟が建設できたので雨天でも開催できるようになりました。寒風吹きすさぶ中での木津川でしたので厳しい条件の元でも毎年 70 人以上の方々と大変にぎわった取組でした。みんな若かったのですね。

fddb257@yahoo.co.jp 記入項目 氏名 学年（年齢）住所 電話 ※駐車場 20 台分あります。

セリ ナズナ ゴギョウ ハコベラ ホトケノザ スズナ スズシロ

七草摘みと七草粥を楽しもう

2023 年 1 月 6 日（金）

プログラム

うしはこべ

9 時 スタッフ集合
10 時 普賢寺小学校集合
10 時 15 分 開会挨拶

自己紹介
乾杯
10 時 30 分 七草摘み
11 時 15 分 料理
11 時 35 分 野菜投入
11 時 45 分 七草かゆ試合 華かゆ
12 時 10 分 余興

12 時 30 分 閉会
12 時 50 分 集合写真
散会

みずはこべ

みんなで会場準備 床拭き 机椅子並べ拭き
落羽松 南山郷土 都築の宮 都谷 公家谷
今日の取組の意義と目的
自然を大切にする仲間の輪を大きくする意義
住所・氏名・年齢 新年の抱負
お屠蘇 その狙い **七草衣装に着替えて**
現場で七草の説明 まちがいやすいもの
水洗い 刻み費の日 囃子歌

みんなで後始末
里山の会のばりファイランソロー横断幕
自由参加 白土山洞窟探検（30 分～60 分）階段あり

みどりほこべ

七種を刻むときの 囃子言葉

みんなで刻む人を応援する

七種ナズナ

唐土の鳥が 日本の国に

渡らぬ先に

あわせて ばーたばた

正月においしい食事で負担がかかっているおなかに一休みの休憩をさせるために七草かゆでゆとりを持ちましょう

いぬはこべ

いぬはこべ